

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 相模翔優会

特別養護老人ホーム ル・リアンふかみ

短期入所（予防）生活介護 ル・リアンふかみ

<目 次>

はじめに	2
1 理事会・評議員会開催状況	3
2 特別養護老人ホーム	3
(1) 利用者の状況とサービスの提供	3
(2) 介護主任総括	6
(3) 各ユニット報告	7
(4) 短期入所生活介護	11
(5) 利用者の健康状況	12
(6) サービスの質の向上	14
ア 相談部門	14
イ 機能訓練	16
ウ 食事栄養担当	17
エ 介護支援専門員	18
オ 口腔ケア指導	18
3 委員会報告	19
(1) 安全衛生委員会	19
(2) 感染症・褥瘡予防委員会	19
(3) 人権擁護委員会	20
(4) 総務委員会	22
ア 防災	22
イ 物品	23
(5) 行事企画担当	23
ア 研修	24
イ ボランティア活動	28
ウ 外部機関との関わり	29
4 職員関係	29
(1) 職種別配置構成	29
(2) 資格取得構成	29
(3) 講師派遣・実習	30

はじめに

令和4年度は、ル・リアンふかみにも新型コロナウイルス感染症第8波に見舞われました。多くのご利用者並びに職員の感染者を出したことで、ご利用者並びにご家族、職員と職員の家族にご心配と健康上の被害を与えた責任を施設長として痛感しております。今後このような感染を発生させない対策を強化してまいります。また、面会等の制限をさせていただきましたが、令和5年度は感染状況を鑑みながら徐々に緩和し、ご利用者とご家族が会える機会を設けていきます。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により短期入所部門の一時的利用率低下及び長期入所者の入居の停滞などが見られました。結果として、運営数値の伸び悩みをはじめ、ウクライナ紛争の影響による諸物価の高騰の波を受け、運営上の経費の圧迫された運営を迫られました。ご利用者に負担を避けるべく安易な値上げはせずにおりましたが、厳しい運営を行った1年でもありました。今後も経費の削減に努め、健全な運営に尽くしてまいります。経営面では待機利用者の入所を計画的に進め稼働率確保に努めてまいります。

人材関係につきましては、離職率が下がり、職員の定着が進みました。しかし、コロナ禍の影響により外部研修等の派遣が進まなかったことや、ボランティア及び介護相談員の受け入れ等も同様に、外部からの意見をうかがう機会を得なかったことによる内部サービス評価を実施できませんでした。令和5年度は職員間で評価を実施し、課題を職員間で発見し改善と研修を進めてまいります。

近年、人材の確保が施設間の共通の課題となります。魅力ある施設づくりを進めるためには中堅職員の資質向上と新人職員の育成、幹部職員の施設の方向性を担う人材の育成にあります。小規模法人の宿命として、一人ひとりを大切にす組織を目指します。また、新たな社会福祉法人の使命として、独自の公益事業を模索する年度始まりといたします。令和5年度は開設から10年経過し、法人及び施設の方向性を示した中長期計画を進める年といたします。令和5年度からは新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ引き下げとなりますが、感染への警戒を行いながら、開かれた施設運営を構築致します。また事業計画に行動指針を継続して実施し、「継続と実施」を目標として進んでまいります。

令和5年3月31日
特別養護老人ホーム
ル・リアンふかみ
施設長 小泉 昇

1 理事会・評議員会報告

(1) 理事会開催状況 理事 6 名 監事 2 名

回	開催年月日	出席者数	承認・決議事項
1	令和 4 年 5 月 16 日	8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 号議案 令和 3 年度事業報告について ・ 第 2 号議案 令和 3 年度決算報告について ・ 第 3 号議案 監事監査報告及び財産目録について ・ 第 4 号議案 法人理念・施設運営方針の改正について ・ 第 5 号議案 次回理事会・評議員会開催日程について ・ その他・報告事項
2	令和 4 年 10 月 26 日	8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 号議案 令和 4 年度補正予算について ・ 第 2 号議案 給与規程改定について ・ 第 3 号議案 次回、理事会・評議員会開催日程について
3	令和 5 年 3 月 20 日	8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 号議案 令和 4 年度第 2 次補正予算について ・ 第 2 号議案 令和 5 年度事業計画について ・ 第 3 号議案 令和 5 年度予算について ・ 第 4 号議案 ワイズマン・ブルーオーシャン金額変更に伴う追認事項について ・ 第 5 号議案 運営規程の改定について ・ 第 6 号議案 受水槽補修工事に伴う民間助成金事業の活用について ・ 第 7 号議案 次回、理事会・評議員会開催日程について ・ その他・報告事項について

(2) 評議員会開催状況 評議員 7 名

回	開催年月日	出席者数	承認・決議事項
1	令和 4 年 6 月 12 日	7 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 号議案 令和 3 年度決算報告について ・ 第 2 号議案 令和 3 年度監事監査及び財産目録について

2 特別養護老人ホーム

(1) 利用者の状況とサービスの提供

ア 要介護度別

令和 5 年 3 月 31 日現在

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計 (人)
男性	0	0	2	3	5	10
女性	0	1	22	35	17	75
計	0	1	24	38	23	85

イ 要介護度別月末延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護3	21	23	23	24	25	26	26	27	26	24	24	24
要介護4	36	35	36	35	34	35	37	36	36	35	36	38
要介護5	27	28	27	25	24	22	23	23	21	21	21	22
計	85	87	87	85	84	84	87	87	84	81	82	85

ウ 年齢別 ※平均年齢 86.9 歳 最高年齢 101 歳 令和5年3月31日現在

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	計(人)
男性	0	1	0	2	1	5	1	10
女性	1	0	2	4	11	28	29	75
計	1	1	2	6	12	33	30	85

エ 入所前状況 令和5年3月31日現在

入居前状況等	男性	女性	計(人)
在宅	5	46	51
グループホーム	1	2	3
小規模多機能型居宅介護	0	0	0
有料老人ホーム(住宅型・介護付)	2	10	12
サービス付き高齢者住宅	0	0	0
介護老人保健施設	2	15	17
医療機関	0	2	2
計	10	75	85

オ 要介護度別新規入所者数

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	男性	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	女性	0	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
要介護4	男性	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	女性	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	3	10
要介護5	男性	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	女性	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	4
合計		0	4	0	2	2	3	6	1	1	2	3	3	27

カ 入所者の認知症高齢者・障害高齢者日常生活自立度

【認知症高齢者日常生活自立度】

令和5年3月31日現在

ランク	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M
男性	0	0	0	2	5	0	3	0
女性	2	1	1	13	43	0	15	0
合計	2	1	1	15	48	0	18	0

【障害高齢者日常生活自立度】

令和5年3月31日現在

ランク	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男性	0	0	0	0	2	1	7	0	0
女性	0	0	0	3	10	12	38	3	9
合計	0	0	0	3	12	13	45	3	9

キ 退所理由

	逝去（看取り）	逝去（入院先）	長期入院	他施設入居	その他（急逝）	計
男性	5	6	4	0	0	15
女性	4	7	2	0	2	15
合計	9	13	6	0	2	30

ク 待機者状況

令和5年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	0	15	14	4	33
女性	0	0	17	23	11	51
合計	0	0	32	37	15	84

ケ 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計（人）
面会者数	30	46	45	49	16	9	195
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計（人）
面会者数	10	49	7	0	39	44	149

年間合計 344 人（月平均 28.7 人）

※令和4年4月1日から令和5年3月31日まで新型コロナウイルス感染症予防対策により、施設正面玄関にて窓越し面会を実施。但し、看取り及び体調変化が著しい方については施設判断で喫茶室及び居室内での面会としました。また、新型コロナウイルス感染症クラスター終息後、令和5年1月末までの間は、面会をお控え頂きました。

(2) 介護主任 総括

令和4年度は、7月以降9月にかけて、職員及び家族間に新型コロナウイルス感染症が散見されました。ご利用者への感染は確認されませんでしたでしたが、施設内の感染拡大防止のため、夏まつりの縮小を余儀なくされ、ご利用者に満足していただけるような行事を開催することはできませんでした。その後、12月3日より職員の新型コロナウイルス感染症が確認され、ご利用者の陽性者3名の発症確認に始まり、職員29名、ご利用者46名のクラスターとなりました。悲しいことに4名のご利用者がご逝去される事態となり、職員は感染力の強さと自らの行動による責任の重さを痛感させられる一年となりました。ご利用者は外出や面会もままならない状況下でありながら、感染対応に我慢をさせられる状況におかれましては、看取りのご利用者のご家族は、十分な時間を共に過ごすことができなことは、言葉にできないほどの苦痛を感じることでございました。新型コロナウイルス感染症がこれまで当施設では発症していなかったことへの警戒感の欠落と職員の健康管理意識の甘さが原因と捉えております。また、新型コロナウイルス感染症発生後のユニットでの感染拡大防止の対策が徹底されず、指揮すべきリーダー職員、また、それに準ずる職員の育成が十分に出来ていませんでした。危機管理体制下において、統一した対応ができず、多くのご利用者が感染してしまう事態に職員の自己管理の徹底と新型コロナウイルス感染症対策の見直しを行い、今後備えた対応の取り組みをしてまいります。

採用状況におきましては、ハローワークやホームページ、求人サイトの活用、職員からの紹介により新入職者を迎えることができました。紹介会社からの職員は、最小限にとどめることができましたが、これまでの職員募集活動が実を結んできたものであると考えます。また、非常勤職員からの正職員への雇用契約の変更を行う職員もおり、様々な働き方を考慮してきた制度の活用を進めています。今後も安定した施設運営を行うべく、定期的な採用に力を入れて参ります。職員が定着し、安定した施設運営の継続を目指していきたく強く考えております。

また、職員定着・安定のために教育プログラムの構築を目指し、教育・研修チームを設置しましたが、指導方法など指針を示すことが出来ず、稼働には至っておりません。指導者・リーダー・中堅職員の育成の時間に重点を置き、教育・研修にあたる職員を各種主要研修に参加し、チームで専門的な部門（介護技術、接遇・マナー、認知症）の外部研修への参加を行い、得意分野を作れるよう派遣しましたが、それを職員へ内部研修にて伝達に至らず、施設への取り組みが進んでおりません。上記で示した通り、紹介会社を通さず、雇用が進んでいる現状を踏まえて、教育・研修プログラムの構築は急務と感じております。当施設が、初めての職場となっている職員も増えてきているため、社会人としてのルールをはじめ、教育体制と精神的な支援を継続的に行うことで、職員定着を図り、当法人へ貢献していただけるよう努めてまいります。

(3) 各ユニット報告

<1 階青ユニット>

令和4年度目標	ご利用者の個性を尊重し、施設での生活を楽しんで頂けるような余暇活動の取り組みを考え、実施致します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・居室担当者を中心に、ご利用者お一人お一人の趣味や嗜好を聞き取り、共同生活室及び居室で四季を感じる事の出来る飾りつけや庭園での散歩により日々の生活を楽しんでいただける取り組みを行うことができました。 ・適切な感染対応により、感染者を出すことなく、新型コロナウイルス感染症への感染予防及び感染拡大防止を行うことができました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・談話室や共有スペースの整備不足、複数名で同席するスペースが確保できず、コミュニケーションの場が制限されてしまっており、環境整備に対する配慮が十分ではありませんでした。 ・ご利用者の要望に沿ったレクリエーションの企画及び実施ができませんでした。
次年度課題	ご利用者の個別性を理解し、ご利用者同士の交流の場を設け、施設内での楽しみを見つけていただける取り組みを考え、実施致します。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・ひな祭り・お花見

<1 階緑ユニット>

令和4年度目標	ご利用者とご家族との橋渡しになるように多職種と連携をとりながら、ご利用者の意向や生活歴からお一人お一人にあったケアに努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状態変化に応じて、多職種との情報共有及び連携を図り、適切な対応を行うことができました。 ・ご利用者と職員が関わる際の言葉掛け・表現・対応に関して、ご利用者が安心してコミュニケーションやケアを受けられる体制を取る事ができました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に対する体制が不十分であり、感染拡大に至ってしまいました。 ・居室担当者による個別介護に対する理解や取り組みが十分ではありませんでした。 ・日々のご利用者とのコミュニケーションや支援の中で汲み取った要望や思いを記録に残す機会が十分ではありませんでした。
次年度課題	ご利用者お一人お一人の声を聴き、生活支援シートやご利用者の心身状態に合わせたケアに努めます。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・ひな祭り・お花見

<1 階茜ユニット>

令和4年度目標	ご利用者が安心して生活できるよう、介護職員の知識・技術向上を図ります。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の参加により、各職員が専門職としての自覚と自身の役割を認識し、質の高いサービス提供を行うことができました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の心身の状態と意向を把握し、ケアに関する改善点等を職員間で話し合い、問題解決に向けて居室担当者が自主的に行動を起こす事ができました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の蔓延により、ご利用者、職員共に感染拡大に至る事態に発展し、感染症対策に関する知識及び体制が十分ではありませんでした。 ・中堅職員と新人職員のスキルの違いにより、ご利用者に対して統一されたケアの提供が行えない場面が見受けられました、新人職員に対しての配慮不足、段階を踏んだ内部研修の選定、送り出しを行うことができませんでした。
次年度課題	ご利用者が安心して生活できるよう、ケアの統一化、新入職員含め、介護職員の知識・技術向上を図ります。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・ひな祭り・お花見

<2 階紫ユニット>

令和4年度目標	良好な関係性や信頼を築く為、対話の場を多く持ち、ご利用者との関わりを意識したケアを目指します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・居室担当者が中心となり、居室内の整理や季節ごとの飾り付けを行うなど、過ごしやすい環境をつくることができました。 ・ご利用者お一人お一人の状態把握に努め、排泄時間の見直しを行うなど、その人にあったケアを実践したことで時間にゆとりを持ち、多くの対話の場を設けることができました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者アンケートを実施し、お一人お一人に聞き取りを行ったことで考えや思いを聴き、生活課題等の抽出は行うも適切に業務反映することができませんでした。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ご利用者並びにご家族への多大なるご心配をお掛け致しました。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の声を大切にし、適切に反映されるよう、ユニット職員間で多く情報共有の場を持ち環境づくりや業務の改善に努めます。 ・信頼を築きより安心した生活が送れるよう、内部、外部研修を活かし職員の知識と技術の向上に努めます。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<2 階青ユニット>

令和4年度目標	ご利用者お一人お一人のご利用者の心と体に寄り添う介護を目指します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・日常における各サービス（食事介助、排泄対応等）について各職員が プライバシー等の細かな部分への配慮を意識し、しっかり取り組むことができました。 ・褥瘡予防の観点から、ご自身で寝返りすることが難しいと思われるご利用者に対しては医務、機能訓練指導員と連携しその方に適した対応を実現することができました。

反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身で活動されるご利用者が多いため、食堂内における感染症対策をいち早く講ずるべきでしたが、多職種連携が十分でなかった為、迅速な整備が行えず、新型コロナウイルス感染症拡大を招く結果となってしまいました。 ・ご利用者が居室内窓、2階フロア内テラス出入口より離設する事故が発生しました。原因として居室内、2階フロア内テラス出入口の環境整備が適切でなかったためであり、事故予防の観点からも、環境作りが十分ではありませんでした。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・居室担当者が中心となり、適切な整容、居室環境整備等に努めます。 ・フロア職員会議やレクリエーション等を月1回の目安に開催し、職員間の情報共有、ご利用者の娯楽提供機会の確保に努めます。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・園庭散策

<2階緑ユニット>

令和4年度目標	ご利用者とのコミュニケーションをより深め、多職種と連携する事でより多くのご希望に添えるように努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション等を通じてご利用者との会話の中からお希望に添える様に、各職員が耳を傾け業務にあたる事が出来ました。 ・生活環境の健康への配慮を徹底し、維持する事を職員が強く意識し行動してきました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症への感染からご利用者・ご家族にご心配をお掛けしてしまいました。また、行事に関しましても感染拡大防止の観点からの計画通りに行えず、延期や中止を余儀なくされ、予定していた夏祭りも秋祭りへと時期をずらしての開催となりました。次年度には企画・立案から見直し計画的な開催を目標に努めてまいります。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者アンケートに寄せられた声を常に意識し、日々の業務の改善と介護技術の習得に取り組んでまいります。 ・コミュニケーションの場をこれまで以上に設けご利用者・ご家族と関わってまいります。
行事	お誕生日会・秋祭り・敬老会・節分・ひな祭り・お花見

<2階茜ユニット>

令和4年度目標	ご利用者の声が暮らしにより反映されるよう、多職種の協力のもとコミュニケーションの場を設け、ご利用者・ご家族と関わっていく事に努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のご希望からレクリエーションを企画し取り組んできました。 ・ご利用者の身体状況の変化に伴い、速やかに多職種と連携する事で柔軟に対応する事が出来ました。 ・新型コロナウイルス感染症の感染者を出すことなく、感染対応を徹底して行うことが出来ました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者アンケートの内容から、日頃の余暇活動に「不満を感じている」方々の声を業務に反映する事が十分ではありませんでした。次年度はご利用者・

	<p>ご家族の声をより多く反映できるよう業務へあたることに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時期をずらしての開催や中止を余儀なくさせていただきました。次年度は十分な対策のもと企画を検討し、より多くの行事を開催する事に努めます。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居室担当が率先して情報発信・収集を行ってまいります。 ・ 研修へ積極的に参加して知識・技術の向上に努めてまいります。
行事	お誕生日会・秋祭り・敬老会・節分・ひな祭り・お花見

<3 階青ユニット>

令和4年度目標	多職種連携し、ご利用者が自分らしい生活を実現できるよう努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他職種連携をし、ご利用者の変化に適切に対応する事が出来ました。 ・ 散歩や庭園でのおやつ会を実施するなど、変化にとんだレクリエーションを実施し、ご利用者に楽しんで頂く事が出来ました。
反省点	ご利用者の日常の様子を詳細に記録する事が十分にできず、個別ケアに生かすことが出来ませんでした。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護記録の質の向上を目指し、個別ケアの実践に繋がります。 ・ 新型コロナウイルス感染症をはじめ、様々な感染症に対してしっかりと予防と感染拡大に対する取り組みを職員間で徹底致します。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・ひな祭り・お花見

<3 階紫ユニット>

令和4年度目標	ご利用者が日々楽しく過ごせるように努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物作成等、ご利用者が主体的に参加できるレクリエーションを実施することが出来ました。また、庭園の散歩や戸外でのレクリエーションを増やし季節感を感じて頂けるようにしました。 ・ 内部研修へ積極的に参加をする事により職員個々人の技量の向上に生かすことが出来ました。
反省点	・ 丁寧な接遇、コミュニケーションの実施を徹底する事ができず、ご利用者に不快な思いをさせてしまう事がありました。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身だしなみや言葉遣い、声かけの方法や職員の表情などに注意し接遇力の向上を目指します。 ・ ご利用者及びご家族等とのコミュニケーションを積極的にとり、情報収集に努めます。 ・ 新型コロナウイルス感染症をはじめ、様々な感染症に対してしっかりと予防と感染拡大に対する取り組みを職員間で徹底致します。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・ひな祭り・お花見

(4) 短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）

<3 階緑・茜ユニット>

令和4年度目標	・ ご利用者の心身機能や健康状態、生活環境を把握し、適切な介護サービスを提供する事に努めます。
---------	---

	<p>提供することで居宅における生活とご利用中の生活が支障なく継続できるように支援致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が快適に安心して過ごせる居心地良い空間作りに努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・分担制でレクリエーションを行いました。新型コロナウイルス感染症もあり、予定通り実施できませんでしたが楽しみがあり喜んでいただきました。 ・退所時の忘れ物が、無くならず毎月出してしまいました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者情報のお知らせへの記入内容が同じような内容で不十分な為に、ご家族を不安にさせてしまいました。 ・新型コロナウイルス感染症の感染者を出してしまった為、予定していたレクリエーションが十分に行えませんでした。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者情報のお知らせより生活状況が浮かび分かるような内容にする事を職員間で徹底致します。 ・新型コロナウイルス感染症に対し、流入を防げるように多職種との連携を図り、感染を出さないように努めます。 ・苦情案件が出ないように周知することに努めます。
行事	夏祭り・敬老会・クリスマス会・ひな祭り・お花見

年間延利用日数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男性	0	0	0	0	3	0	0	17	0	0	0	2	20
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
要介護1	男性	9	2	0	0	2	4	8	5	31	0	0	0	61
	女性	7	3	6	33	37	38	72	52	28	43	33	42	394
要介護2	男性	24	26	31	47	49	53	25	31	24	25	24	25	384
	女性	91	101	66	71	81	89	93	101	70	78	57	56	956
要介護3	男性	60	30	4	21	5	5	4	17	0	50	45	8	249
	女性	218	218	180	207	189	168	130	98	64	89	139	170	1,870
要介護4	男性	12	23	19	26	41	49	20	17	13	21	19	21	281
	女性	75	117	136	99	111	139	123	93	96	125	137	96	1,347
要介護5	男性	24	20	27	37	27	25	15	12	14	30	43	22	296
	女性	48	69	87	68	54	80	77	135	97	78	87	96	976
小計	男性	129	101	81	131	127	136	72	99	82	126	131	76	1,291
	女性	441	508	475	478	472	514	495	479	355	413	456	462	5,548
合計		570	609	556	609	599	650	567	578	437	539	587	538	6,839

新規ご利用者数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数		4	6	5	5	9	3	8	4	1	9	4	3	61

(5) 利用者の健康状況

月別入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	2	1	3	2	2	2	2	1	0	0	0	16
女性	0	1	0	2	3	2	1	1	8	2	2	1	23
計	1	3	1	5	5	4	3	3	9	2	2	1	39

入院状況

No.	性別	入院月日	症状・病名	入院日数	再入所日	備 考
1	男	4月10日	低血糖・意識障害	24日	5月3日	
2	女	5月2日	脳梗塞	29日	5月30日	
3	男	5月14日	肺炎	45日		入院中ご逝去
4	男	5月28日	誤嚥性肺炎	39日	7月4日	
5	男	6月5日	肺炎・尿路感染・脱水	22日		入院中ご逝去
6	男	7月13日	肺炎	14日		入院中ご逝去
7	女	7月15日	尿路感染・脱水	19日		入院中ご逝去
8	男	7月25日	誤嚥性肺炎・尿路感染	39日		入院中ご逝去
9	女	7月28日	脱水	26日		入院中ご逝去
10	女	8月4日	痙攣発作・低Na血症	23日	8月26日	
11	女	8月6日	心不全	16日		入院中ご逝去
12	男	8月10日	尿路感染・腎機能低下	8日	8月18日	
13	女	8月16日	右大腿骨転子部骨折	25日	9月9日	
14	男	8月22日	心不全	17日	9月7日	
15	女	9月1日	心肺停止	0日		搬送後ご逝去
16	男	9月7日	肺炎	24日		療養型へ転院
17	女	9月17日	誤嚥性肺炎・尿路感染	16日	10月12日	
18	男	10月7日	誤嚥性肺炎	1日		入院中ご逝去
19	男	10月19日	吐血	1日		入院中ご逝去
20	女	10月23日	尿路感染・心不全	13日	11月4日	
21	男	11月7日	心不全	17日		転院の為ご退去
22	男	11月14日	蜂窩織炎	76日		入院のままご退去
23	女	11月21日	誤嚥性肺炎	43日		入院中ご逝去
24	女	12月7日	抜歯	4日	12月10日	
25	女	12月13日	新型コロナウイルス感染症	16日		入院のままご退去
26	女	12月22日	新型コロナウイルス感染症	6日		入院中ご逝去
27	女	12月22日	新型コロナウイルス感染症	71日	3月2日	
28	男	12月24日	新型コロナウイルス感染症	23日	1月15日	
29	女	12月25日	新型コロナウイルス感染症	12日		入院中ご逝去
30	女	12月25日	新型コロナウイルス感染症	0日		搬送時呼吸停止

						(ご逝去)
31	女	12月26日	新型コロナウイルス感染症	80日		療養型へ転院
32	女	12月27日	誤嚥性肺炎	31日		入院中ご逝去
33	女	12月29日	心不全	10日	1月7日	

疾患別

No.	疾患系統	症状・病名	男性	女性	計(人)
1	悪性腫瘍	乳癌・大腸癌・前立腺癌、前立腺癌など	4	5	9
2	精神・脳神経系	精神疾患	1	11	12
		認知症	6	36	42
		パーキンソン病	2	5	7
3	消化器系	便秘	7	34	41
		胆のう・胆石	0	1	1
4	腎臓系	腎不全	0	3	3
		尿路感染	1	8	9
5	心臓・血管系	心疾患・不整脈	1	23	24
		高血圧	5	44	49
		脳出血・脳梗塞	1	18	19
6	血液系	貧血	0	9	9
7	自己免疫系	関節リウマチ	0	3	3
8	骨・関節系	骨粗鬆症	0	8	8
		大腿骨骨折	0	20	20
		腰椎圧迫骨折	1	13	14
9	内分泌系	糖尿病	1	8	9
		高脂血症	0	15	15
10	感覚系	白内障	1	15	16
		緑内障	0	4	4
11	呼吸器系	肺炎	3	12	15

(6) サービスの質の向上

ア 相談担当

令和4年度目標	<ul style="list-style-type: none">・ 安定した事業運営のため、適切な収益確保や入退所の効率化に努めます。・ 相談員間で入居待機者の把握を行い、空床期間を短縮します。また、随時面談を実施するとともに、短期入所の利用をご提案します。・ 入居及び短期入所の目標稼働率を通年97%とします。・ 生活相談員に必要なソーシャルワークを学ぶため研修参加や資格取得を目指し、相談専門職としての質を高めます。・ 外部研修や勉強会等に積極的に参加し相談専門職のスキル向上に努めます。・ 入居申込者確保のため、高齢者施設や医療機関等との関係を深めます。・ 毎月相談員会議を実施し、売上や入居進捗状況確認等を確認致します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none">・ 今年度における入居及び短期入所の平均稼働率は年間 91.2%となり、年間目標である 97%を大きく下回る結果となりました。サービス別年間稼働率は、入居 88.4%、短期入所 93.9%となりました。 <p>【入居】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 入居としては入院 33 件（延べ 790 日）のうち 29 件（延べ 761 日）が内科的疾患による入院ケースで、入院者の大半を占める結果となりました。但し、骨折による入院は今年度 1 件で前年度（3 件）と比較し減少に至りました。・ 今年度は、30 名退居（入院・長期療養が 19 名、看取り 9 名、急逝 2 名）、27 名入居されております。特に内科的疾患では長期的な入院期間が必要とされ、状態改善せずに退居となるケースや、令和 4 年 12 月 3 日～1 月 6 日までの約 1 か月間に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、6 名が入院し、誠に残念はありますが 4 名がご逝去されました。・ 入居申込者が今年度途中で、大幅に減少致しましたが、徐々に増加傾向となっております。入居申し込みの段階で、申込者や担当者（ケアマネジャーや医療相談員等）に連絡・状況確認を行っております。短期入所をご利用されている方から入居に向けた相談を受ける機会が多くなり、入居を前提とした短期入所ご利用にもつながるケースが多くありました。 <p>【短期入所】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和 4 年 4 月より 11 月までの平均稼働率は 97.2%で推移してまいりました。令和 4 年 12 月に施設内で新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、当初は 95%前後の稼働率予測となっておりましたが、利用キャンセルが相次いだことにより、急激な稼働率低下を招きましたが、終息後は積極的に新規獲得や長期利用の提案を積極的に行う事により徐々にではありますが稼働率が回復致しました。・ 居宅介護支援事業所に対し、従来から実施している FAX 等での空床案内に加え、顔が見える関係性構築のため、可能な限り居宅介護支援事業所へ訪問及び新規受け入れ等を依頼し、相談並びに利用日数増加に繋がっております。・ ご利用終了後も、担当ケアマネジャー等にご利用状況を細かくお伝えするこ

	とで情報共有に努め、継続的な利用に繋がりました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員間の連携不十分等の理由により、スムーズな入居を進める事が出来ませんでした。 ・相談員間の連絡体制や初動対応の不備等により長期入院や退居後の新規入居までの空所期間が長期間に渡ってしまったことで、大幅な減収や稼働率低下に繋がる結果となりました。 ・令和4年12月3日から令和5年1月6日までの間、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により入居候補者の面談がスムーズに実施できなかった事、短期入所ではご家族からの利用キャンセルにより、稼働率の低下を招きました。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の施設での新型コロナウイルス感染症の発生状況を細かく情報収集し、介護及び看護等と連携し、施設内での発生予防に努めます。また、新型コロナウイルス感染症の発生による入院や利用キャンセル等の不測の事態が起こる可能性を見据え、即時対応を行います。 ・安定した事業運営のため、適切な収益確保や入退所の効率化に努めます。 ・相談員間で入居待機者の把握を行い、空床期間を短縮します。また、随時面談を実施するとともに、短期入所の利用をご提案します。 ・入居及び短期入所の目標稼働率を通年97%とします。 ・生活相談員に必要なソーシャルワークを学ぶため研修参加や資格取得を目指し、相談専門職としての質を高めます。 ・外部研修や勉強会等に積極的に参加し相談専門職のスキル向上に努めます。 ・入居申込者確保のため、高齢者施設や医療機関等との関係を深めます。 ・毎月事務所会議を実施し、売上や入居進捗状況確認等を確認致します。
次年度の取り組み	<p>【入居・短期入所共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護及び看護と協力し、小さな体調変化に迅速に対応し、体調不良の重症化を未然に防ぎます。長期入院や退所による空床の減少に努めます。 ・毎日相談員間の打ち合わせにより、連携確保・情報共有に努めます。 <p>【入居】</p> <p>退居から入居までを遅滞することなく、入居希望者の対応を円滑に努めます。</p> <p>①～④のサイクルで活動します。</p> <p>① 入居希望者の状況収集・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居申込書を基に、申込者や担当ケアマネジャー、医療相談員等に連絡し、申込書には記載されていない細かな情報収集を行います。申し込みから3か月以上経過した方については入居意思を確認します。既に他施設に入居している方は速やかに待機者リストを整理します。 ・情報収集した内容を共有し、常時30名を候補者として挙げます。 <p>② 面談</p> <p>優先順位の高い方や受け入れ可能である方は、相談員で随時面談に伺います。</p> <p>③ 入退所判定会議</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・面談結果を基に、各専門職との情報共有及び受け入れを確認します。候補者については原則受け入れ決定の場とします。 ・現入居者で体調が不安定な方（看取り契約済みの方も含む）や長期医療機関入院を避けられない方がいる状況であっても、空床期間削減のために、判定会后、速やかに健康診断打診をします。 <p>④ 入居日相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要書類が整い次第、入居日を相談します。 ・健康診断書や診療情報提供書等は概ね3ヶ月有効とし、急な退所にもスムーズにご案内します。
	<p>【短期入所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご自宅での生活状況を適切にアセスメントし、短期入所生活介護との生活の連動性の理解に努めます。 ・各居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、医療機関と密に連絡等行い関係構築に努めます。 ・緊急利用相談があった時は、入院等で空室となっている居室を有効活用し受け入れを行います。 ・空き状況を電話やFAX等でお知らせし、新規ご利用者獲得に努めます。 ・短期入所のご利用者はもちろんのこと、ご家族状況、生活上の困り事を把握致します。また、介護負担軽減のご要望があれば、施設入居案内等をご家族や担当ケアマネジャー等に提案します。

イ 機能訓練

令和4年度目標	ご利用者の身体機能を把握し、個人の生活に沿い個別機能訓練プログラムの立案・実施をする事で、日常生活動作の維持及び低下を最小限に留められるように努めます。
取り組み評価	<p>【ご利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別機能訓練計画書の作成・見直し・評価・日常生活動作を意識した機能訓練の実施・環境整備（福祉用具選定・居室内環境整備等）を行う事で、ご利用者の身体機能の維持・改善ができました。 <p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員や看護師・その他多職種との連携を図り、ご利用者の情報や日常生活動作等の身体能力を共有する事で、体調の変化時には早期に発見し対応をする事ができました。 ・身体機能の変化に伴う日常生活動作変化時には、多職種との検討を行い必要に応じて、福祉用具の選定の見直し・職員への提言等を行う事ができました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・身体状態の改善が観られるも結果、日常生活動作に反映する事が出来ない点もありました。今後も機能訓練を行い身体能力の維持/改善に取り組むと共に介護職員等との更なる連携を図り、機能訓練で行った成果を日常生活動作に反映させ、ご利用者・ご家族に喜んで頂けるように行います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関節拘縮における取組について情報伝達方法に問題と共に課題が有りました。今後においては書面等を作成する等、情報伝達方法の工夫・改善を行い統一化した情報共有が行う事が出来るように取り組みます。
次年度課題	日常生活動作の維持に努めます。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体能力の把握・評価を行うと共に、ご利用者・ご家族のニーズを把握し反映できるように取り組みます。 ・ 介護職員と更なる連携を図り、ご利用者の生活の質の向上や喜びを提供できるように努めます。 ・ 福祉用具や生活環境において快適に過ごして頂きながら、日常生活動作を維持・改善して頂ける様な取り組みを行います。

ウ 食事・栄養担当

令和4年度目標	食べることを通して、ご利用者の生活の質の向上に貢献します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月に食中毒研修実施をしました。 ・ 給食会議では施設職員と厨房委託業者職員が参加し、活発な意見交換が行われました。 ・ 医務との経口維持加算経口摂取支援及び歯科医師と多職種による経口摂取支援は月1回実施をしています。 ・ 3月8日に昭和大学歯学部弘中教授による第11回摂食嚥下に関する回診及び講演会を3年ぶりに実施することができました。ご利用者の食事形態や支援方法等のアドバイスをいただき、今後活かしてまいります。 ・ 毎月セレクト食を実施しており、ご利用者に選ぶ楽しみを感じていただく事が出来ました。 ・ 行事食も予定通りに実施しました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告・連絡・相談がスムーズでない事がありました。今後も各部署との連携に留意します。 ・ 12月は新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、医務及び歯科医師との経口摂取支援を実施することができませんでした。
次年度課題	多職種連携をさらに留意し、ご利用者のサービスに努めます。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月季節に合わせた行事食の提案及び提供等を工夫し、認知度を高めます。 ・ セレクトメニューに続き、ご利用者にリクエストのアンケートを取り、リクエストメニューを取り入れてまいります。さらにご利用者に楽しみを感じていただけるよう食事提供について給食会議で検討します。 ・ その他、食事・栄養における課題について取り組みます。

食事の状況

令和5年3月31日現在

主食		副食		療養食	
米飯	14人	常食	13人	減塩食	12人
軟飯	15人	一口大	18人	貧血食	5人
粥	41人	刻み	28人	脂質異常食	0人
ミキサー粥	15人	極刻み	10人	エネルギー・コントロール食	2人
パン	28人	ミキサー	16人	腎臓食	0人
パン粥	42人				
パン粥ミキサー	15人				
計	85人	計	85人	計	19人
経口維持加算 I 49人					

エ 介護支援専門員

令和4年度目標	現在のご利用者の心身状態に合わせた支援内容が盛り込まれた施設サービス計画書を作成致します。
取り組み評価	新規ご利用者ならびに病院での退院に向けての事前面談が思うように出来ない中、現在の心身状態に近づいた施設サービス計画書の作成、修正後の施設サービス計画書の作成をおこなうことが出来ました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ご家族に対しての聞き取りが思うように出来なかった為、生活に対する意向について内容が記入しきれませんでした。 面会制限が長く続いた事で、ご家族が施設に来院される機会も少なく、またご家族自ら自粛された方もいました。対面での話しを遠慮された事で、直接話しを伺う機会が少なかった1年となりました。
次年度課題	ご利用者の要望、希望を自ら訴える事が出来る方は自分で、自ら出来ない方はご家族、施設職員からの聞き取りを目標とし、多職種からの意見も交えた施設サービス計画書を作成します。
次年度の取り組み	長期目標・短期目標の見直しは入退院時や身体状況に変化が見られた時、看取り契約を新たに結ばれた時など、施設サービス計画書の変更が必要になった場合に長期目標及び短期目標の見直しをおこないます。

オ 口腔ケア指導

取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月3日～令和5年1月6日までの間は、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により歯科往診及び口腔ケア指導を一時的に中止せざるを得ない状況となりましたが、新型コロナウイルス感染症終息後、歯科往診時に歯科医師及び歯科衛生士による個別指導を受けました。 ご利用者の嚥下状態の低下は否めませんが、適切な食事形態での提供及び口腔ケア実施に努め、誤嚥性肺炎の予防等に努めます。
--------	--

3 委員会報告

(1) 安全衛生委員会

開催日	毎月第1月曜日
令和4年度目標	安全な職場の環境づくりの取り組みと職員の健康管理に努める
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 腰痛予防の為にラジオ体操の継続ができました。 年2回の巡回パトロールを実施して施設内の環境整備と換気に努めました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> 年1回のストレスチェックにおいてここ3年あまり仕事・心身のストレスが少しずつ上昇している結果がでている。 今年度のストレスチェック施行日が新型コロナウイルス感染症対策中の為上昇したとも考えられる。 コロナ禍のストレスもあるが産業医の面談だけでなく施設内の面談も実施していく必要がある。 感染対策の強化の必要性を感じた一年であったので、新型コロナウイルス感染症の反省を活かします。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> 腰痛予防の取り組み強化とストレスの軽減。 新型コロナウイルス感染症の反省を今後を活かし、感染防止に努めます。
次年度の取り組み	感染予防対策と働きやすい職場作りに努めます。

(2) 感染症・褥瘡予防委員会

開催回数・出席人数	研修：新型コロナウイルス予防研修、食中毒研修、感染症研修 委員会：年4回 5月、8月、11月、2月
令和4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 感染症に関わる研修を実施し、職員全体の知識向上に努めます。 多職種と連携し、褥瘡と皮膚トラブルの速やかな対応に努めます。 新型コロナウイルス感染症対策を多職種と連携して取り組みます。 感染症対応を全ての職員が統一された方法で実施出来るよう努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対応に関わる研修を各ユニットでビデオを閲覧する形で開催することによって、集団感染による被害を抑制し、安全に研修を開催することが出来ました。また、ビデオ研修を行うことで、前年度に比べ、職員の参加人数も増加傾向にありました。 多職種を交えてカンファレンスを開催し、ご利用者の状態に合わせて除圧マットやクッションを選定し、褥瘡や皮膚トラブルの予防及び改善に繋がりました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の集団発生後の対応について、委員会が十分に機能することが出来ず、ご利用者並びにご家族へ多大な被害及びご心配をお掛け致しました。 感染対策に関する知識及び体制が十分ではありませんでした。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に関わる研修を実施し、職員全体の技術・知識向

	<p>上を図り、集団発生の防止及び統一された対応に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携し、褥瘡や皮膚トラブルが発生した際、速やかな対応に努めます。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを随時改正し、新型コロナウイルスに関わる研修を定期的に行い、全職員に対して周知・徹底に努めます。 ・褥瘡対策個別計画書を作成し、研修を実施します。

(3) 人権擁護委員会（兼身体拘束適正化委員会）

※4月・7月・10月・1月は、身体拘束適正化委員会を兼ねて開催致しました。

開催日	<p>4月12日</p> <p>5月10日</p> <p>6月14日</p> <p>7月12日</p> <p>8月9日</p> <p>9月13日</p>	<p>10月11日</p> <p>11月8日</p> <p>12月13日（クラスター発生中・中止）</p> <p>1月10日</p> <p>2月14日</p> <p>3月14日</p>
令和4年度目標	<p>【事故予防関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬事故防止に重点におき、服薬方法等の検討・再発防止に努めます。 ・事故予防関連の勉強会やセミナー、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。 <p>【人権擁護関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に尊厳ある支援・ケア実施に努めます。 ・職員の人権教育を周知・徹底致します。 <p>【苦情解決関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者及びご家族、関係団体からの意見や要望を適切に対応し、苦情へ発展しないよう努めます。 ・苦情解決関連の勉強会やシンポジウム、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。 	
取り組み評価 反省点と要因等	<p>【事故予防関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から身体介助の場面で、小さな内出血や傷等の報告が細かく挙げられました。ヒヤリハット報告は年間352件（月平均29.3件）で、たくさんの報告が挙げた結果、骨折を伴う入院は1件に抑える事ができました。 ・入院及び退院による日常生活動作及び身体状況の低下等がみられる方も多く、介助方法検討ではこまめに多職種などでカンファレンスを実施致しました。 <p>【人権擁護関連】</p> <p>委員メンバーを中心に、接遇マナーや法令順守、プライバシー保護、高齢者虐待及び身体拘束防止研修、事故防止研修、人権研修等の権利擁護に関する研修を行いました。日々ご利用者の接し方や言葉などの接遇面についてはまだ十分ではありませんが、研修等では職員側としての見方ではなく、自分自身がご利用者及びご家族側の立場に立った時にどのように思うのかを多く</p>	

	<p>の機会や場面で伝えていきます。</p> <p>【苦情解決関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情案件は短期入所部門にて2例発生しました。1例目は、不適切な言葉遣いや対応について、ご家族よりご連絡を頂きました。対応職員がご利用者自身に名前を聞かれたにも関わらず名乗らなかった事、コールボタンの置き方に対する内容となります。2例目は、初回ご利用であり、ご利用者の身体にあった傷に対して、生活相談員からご家族への連絡の不備によるものでした。また、2例目については行政に対して苦情申し立てされた案件となりました。特に初回ご利用の際は、生活状況が見えにくい状況であることから、ご利用時のこまめな記録、ご家族以外にも担当ケアマネジャー等の関係機関の連絡報告を今後も徹底してまいります。 ・ 苦情解決第三者委員会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念され、委員会の開催は叶いませんでした。しかし、苦情解決第三者委員へ報告し、苦情に対するご助言を頂きました。
<p>次年度課題</p>	<p>【事故予防関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 服薬事故防止に重点におき、服薬方法等の検討・再発防止に努めます。 ・ 事故予防関連の勉強会やセミナー、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。 <p>【人権擁護関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者に尊厳ある支援・ケア実施に努めます。 ・ 職員の人権教育を周知・徹底致します。 <p>【苦情解決関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者及びご家族、関係団体からの意見や要望を適切に対応し、苦情へ発展しないよう努めます。 ・ 苦情解決関連の勉強会やシンポジウム、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。
<p>次年度の取り組み</p>	<p>【事故予防関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者の状況変化の際には、支援の方向性について多職種で協議します。ご利用者の負担の少ない介助方法を検討及び推進します。 ・ 各ユニットで発生した事故や予防策を共有し、類似事故の減少に努めます。 ・ ヒヤリハットの検証を行い、予想されるリスクの共有に努めます。 ・ 身体拘束等適正化委員会を3カ月毎に開催し、身体拘束のないケアを継続します。事故対策が身体拘束や行動制限に繋がる可能性がないか検証します。 <p>【苦情解決関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者及びご家族、関係団体からの意見や要望を迅速かつ懇切丁寧に対応致します。委員メンバーで内容を共有し、施設職員に適宜開示致します。 ・ 苦情の内容を真摯に受け止め、「苦情・相談解決フローチャート」に基づき、苦情の早期対応・早期解決に努めます。 ・ 苦情解決第三者委員を招き、苦情解決委員会を開催します。苦情内容や対応

	<p>について助言を頂き、適切に対応します。</p> <p>【人権擁護関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不適切なケアの防止に努め、適切なケアを推進のための教育に徹します。また、日常の関わりでも不適切な言動に対して、職員間で注意喚起を行います。 ・ 常に「自分自身が受けたいケア」を念頭に置き、委員が他職員の模範となるよう行動し、ご利用者の立場に立ったケアを実施します。 <p>【委員会共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回事故防止や身体拘束に関連する研修を実施します。 ・ 接遇やマナー、法令順守、プライバシー保護関連の研修を実施します。
--	--

(4) 総務委員会

開催日	4月8日 5月6日 6月10日 7月8日 8月12日	10月14日 11月11日 1月12日 2月10日 3月10日
-----	--	---

ア 防災

令和4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当施設の立地が河川に面しているため、日頃から天気予報等の情報収集に努め、大雨・洪水等、大災害発生リスクを軽減し、防災計画や事業継続計画の見直しを常に図り、全職員に対して周知いたします。 ・ 入職間もない職員も多いので防災訓練（体験型）や防災研修（座学）の場を通じ、普段から各種の災害の恐さや災害時の行動と準備の大切さを学びます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえつつ、委員会や防災訓練を実施しました。 ・ 令和4年度は、大型台風や地震なども少なく、情報収集・伝達に注意して意識や行動を高める事を中心に活動しました。特に夜勤帯に震度3の地震があった際には総務委員の夜勤者複数名が中心となり、全館フロアへの声かけやご利用者の健康状態やけがの有無等の確認及びライフラインの確認を実施して上司へ速やかに報告する等、緊急時の行動及び連絡の発信を職員自らの判断で行うことを総務委員はじめ、職員ひとりひとりの成長を感じることでできた1年でありました。
反省点と要因	新型コロナウイルス感染症対策の一環で、夜間想定避難訓練が消防本部の立ち合いで実施することが出来ませんでした。
次年度課題	洪水危険や大地震の際の準備や行動の大切さを委員のみならず広く全職員に周知できるような働きかけを考えなくてはなりません。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度より介護保険制度にて災害時における事業継続計画が盛り込まれ当施設においても過去の経験を振り返り、災害時においてもご利用者へのサービスを出来る限り普段通りに継続出来るように考え努めて参ります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設の立地が一級河川に面しているため、急な坂道にも隣接しているため、天気予報等の情報収集に努め、大雨・洪水・大雪等の注意喚起を職員へ回り、大災害発生リスクを軽減し、防災計画や事業継続計画の見直しを図り、全職員に対して周知致します。 ・入職間もない職員も多いので防災訓練（体験型）や防災研修（座学）の場を通じ、普段から各種災害の恐さや災害時の行動と準備の大切さを学びます。
--	--

イ 物品

令和4年度目標	毎月末に棚卸しを確実に実施し、消耗品等の不足品が生じないように管理するとともに、保管場所の衛生保全に努めます。
取り組み評価	昨年度は洗剤等の消耗品はじめ、あらゆる物品の価格上昇が見られ、改めて物品を無駄にしないよう全職員に働きかけましたが、細部までは行き届きませんでした。また新型コロナウイルス感染症が拡大し衛生関連品の消費が拡大しましたが随時、適正な利用を声掛けし少しでも無駄にしないで取り組みました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯洗剤等の消費が著しく、洗剤の適正量の周知徹底が出来ませんでした。 ・使用済みの洗剤のボトルがそのまま留置されていることが多く、処分（分別）の判断が曖昧のため、留置されていたものと思われます。
次年度課題	今年度と同様に、毎月末に棚卸しを実施して消耗品等の不足品が生じないように管理するとともに、保管場所の衛生保全に努めます。
次年度の取り組み	毎月末に棚卸しを確実に実施し、消耗品等の不足品が生じないように管理するとともに、保管場所の衛生保全に努めます。

(5) 行事企画担当

令和4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事を基に、ご利用者に四季を感じて頂けるような行事を企画します。 ・新型コロナウイルス感染症対策と社会情勢を踏まえたうえで、その時の情勢に合わせた対応をいたします。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策下の中、「バザー」「敬老会」は、密を避けるため、残念ながら中止となりました。 ・「夏祭り」は、新型コロナウイルス感染症の第7波の流行により、小規模ながら、各ユニット毎の独自の企画にて、季節を感じて頂けるような行事を行いました。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策下の中、多職種と連携をとり、感染拡大に注視しながら、ユニット毎の企画が行えたことは次年度以降も活かせると考えます。社会情勢の変化に対応し、臨機応変に対応していけるよう準備を行う必要があります。 ・感染症予防の意識を高く持つことにより、施設全体の行事だけではなく、ご利用者お一人お一人にあわせた企画など個別性を重視した企画を検討します。
次年度課題	引き続き、新型コロナウイルス感染症対策は続くと考えられます。今年度の取り組みを活かし、小規模の行事として、年間計画を立てています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事についてはコロナ禍での開催は小規模もしくは、人と人との密を避けるための工夫をし、多職種と連携をとり、ご利用者に楽しんでいただける行事を作り上げていきます。
次年度の取り組み	庭園の散歩など、日頃から行える外気浴の機会を設け、ご利用者に季節感を感じていただけるよう努めます。

行事实施状況

5月5日～7日	菖蒲湯
7月7日	七夕
8月	夏祭り（新型コロナウイルス感染症予防のため、ユニット毎に実施）
9月	敬老会（新型コロナウイルス感染症予防のため、ユニット毎に実施）
10月	バザー（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
11月21日	お寿司屋
12月20日～22日	ゆず湯（新型コロナウイルス感染症予防のため、一部実施）
12月28日	お餅つき（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
1月	初詣（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
1月1日～3日	新年挨拶（お屠蘇・お年賀）（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）

令和4年度研修実績

令和4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアパス制度に基づき、各職員の能力・適正に応じた研修や勉強会を実施し、施設全体の基礎力アップや資格取得等に繋がります。 ・ ご利用者へのサービス向上のための知識及び技術向上を図り、職員定着率を高めます。 ・ 介護福祉士実習指導者の資格取得により、外部教育機関へアピールと積極的な実習受け入れを行います。
取り組み評価	<p>【教育担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画配信形式の内部研修を取り入れ、レポート提出型の研修を増やしたため、多くの職員に学ぶ機会を増やすことができました。また、レポートの質問に回答することで、個々の疑問点を見出すことができました。 ・ 新入職の職員は経験・未経験問わず、研修を行うことは出来ましたが、定期的な評価を行うことには至らず、振り返り研修など継続的な職員教育には不十分なものとなりました。 ・ 基礎的な技術などは、多職種との連携等により、必要な職員へ働きかけ、個々の能力を伸ばし、基礎力のスキルアップを行えました。 ・ 職員の能力などを加味し、階層別にそれぞれにあった研修が行われず、職員のスキルアップや意識覚醒には不十分なものとなりました。 <p>【研修担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修の集合研修が再開し、上半期は積極的に職員に参加を促すことができました。適宜、オンライン研修、動画配信形式の研修活用により、職員が参加しやすい環境作りに配慮することができました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達研修が行われず、職員に伝えることができませんでした、計画性をもって行い、他の職員の学ぶ機会を作り出すことができませんでした。
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の下に配慮した環境の下、計画していた研修が中止になり、派遣できない期間が長くなってしまいました。 ・施設にて、パソコンなどの環境設備を行い、オンライン研修を行えるようになりましたので、夏以降は、積極的に参加し活用することができました。

【内部研修】

研修種別	内容	人数
新人職員研修 令和4年4月1日～5日 令和4年11月1日～5日 施設課 講師：小泉施設長、各主任	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時のご利用者対応 ・移乗時の注意事項 ・事故の報告・連絡・相談 	8名
介護技術講習会 令和4年4月27日 講師：神奈川県介護福祉士会 田川和子理事 コッシュイシイ美千代会長	片麻痺のご利用者の起き上がり、移乗介助	12名
食中毒研修 令和4年5月19日 講師：井内澄子管理栄養士	食中毒概論・各論および対策	18名
人権研修 (高齢者虐待防止・身体拘束禁止) 令和4年6月2日 講師：山本主任・篠崎リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの声が聞こえますか」の視聴 ・どのようなケアを行うことが望ましいのかをグループ討議して検討する 	26名
薬について 令和4年6月9日 講師：塩谷看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の作用・効果について ・飲み薬の効果の発揮 ・DDSの技術の考え方 ・演習 	20名
褥瘡予防研修 令和4年7月7日 講師：今村介護職員・小泉看護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・「陰部洗浄マニュアルビデオ」の視聴 ・陰部洗浄の実践 	13名
感染症対応研修 令和4年9月15日 講師：感染症褥瘡予防委員会	吐物処理について「マニュアルビデオ」を視聴後のレポート提出	66名
介護技術講習 令和4年9月22日 講師：山本主任、甘利リーダー、古橋リーダー	4月27日に講師を招いた「本人の力を生かした寝返りから車いすへの移乗」の伝達研修	9名

法令順守・プライバシー保護研修 令和4年10月13日 講師：土屋リーダー・山田相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・法令順守とコンプライアンス、法令や規則について例題を交えながらの説明 ・介護現場におけるプライバシー保護の重要性について検討 	13名
看取り研修 令和4年11月17日 講師：松尾看護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りとは。 ・看取り介護の実践 	15名
「緊急時の対応」研修 令和5年1月16日 講師：尾方看護師、山田相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・医務不在時の緊急時の対応について、職員からのレポート提出 ・提出後、緊急時の対応について、ガイドラインを提示する。 	38名
高齢者虐待・身体拘束防止研修 令和5年1月12日・1月20日 講師：人見主任・土屋介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待・身体拘束防止等権利擁護に関連する法令 ・身体拘束の背景・現状・取り組み ・高齢者虐待の要因等 ・自己点検シートの実施 	43名
「認知症の理解」研修 令和5年2月16日 講師：鈴木リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・動画配信型とし、レポート提出とする ・認知症の症状 ・認知症のご利用者へのケア 	32名
摂食嚥下回診・口腔ケア研修 令和5年3月8日 講師：昭和大学歯学部 弘中教授	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の摂食嚥下回診 ・いまさら聞けない摂食嚥下の基礎知識 	38名
防災・防犯研修 令和5年3月15日 講師：山本主任	<ul style="list-style-type: none"> ・火災報知器などの防災装置の確認 ・ドアロックなどの防犯装置の確認 ・非常時の連絡体制 	8名
事故予防研修 令和5年3月21日 講師：山本主任	<ul style="list-style-type: none"> ・動画配信型とし、レポート提出とする ・原因分析の考え方 ・効果的な対策の検討 	32名

【外部研修】

研修種別	内容	参加者
リーダー層のための介護技術指導法 令和4年4月25日、5月12日 2日間 主催：東部総合職業技術校	<ul style="list-style-type: none"> ・介護業界の役割・位置づけ ・ボディメカニクス ・腰痛予防 ・ミーティング技法 ・介護技術展開法 ・介護技術指導演習 	古橋 甘利
介護福祉士基本研修 令和4年5月14日～7月5日 5日間 主催：神奈川県介護福祉士会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士とは ・介護過程の基礎的理解 ・介護過程の展開（演習） 	大平

	・現場で応用が利く介護技術	
<p>接遇・マナー研修【動画配信版】 令和4年5月25日 主催：神奈川県社会福祉協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉接遇の理解 ・基本的な接遇技術の習得 ・感染症対策下における接遇の理解 ・社会人として 	池上 小野
<p>ファーストステップ研修（領域Ⅰ） 令和4年6月15日～9月16日 主催：神奈川県介護福祉士会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・尊厳の実践的理解と展開 ・介護職の倫理 ・コミュニケーション技術の応用的展開 ・ケア場面での気づきと助言 <p>※未履修の項目有、次年度にて再履修</p>	山本幸
<p>からだにやさしい介助入門～床上動作～ 令和4年6月7日 主催：神奈川県総合リハビリテーション事業団</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な身体の使い方 ・立位移乗の介助方法 ・移乗用ボードを試用した移乗介助方法 ・リフターを試用した移乗介助方法 	澁谷
<p>からだにやさしい介助入門～移乗動作～ 令和4年6月21日 主催：神奈川県総合リハビリテーション事業団</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な身体の使い方 ・起居動作について ・床上動作について 	澁谷
<p>介護の基本 令和4年7月5日、7月19日 2日間 主催：東部総合職業技術校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護場面における課題と解決方法 ・基本的な介護技術 ・その他 	中村正 中川
<p>神奈川県版ファーストステップ研修 令和4年7月21日～令和5年3月18日 主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会</p>	ケア、連携、運営管理基礎、について全13回の講義を集合研修、インターネット講義にて受講	土屋
<p>神奈川県西部総合職業技術校公開授業 令和4年8月2日 主催：西部総合職業技術校</p>	公開授業と担当職員との意見交換	山本幸
<p>らくらく介護 令和4年9月12日、28日（Aコース） 令和4年9月13日、29日（Bコース） 主催：神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオメカニクスに基づく介助者に負担の少ない介助方法 ・理学療法士と学ぶ移動・移乗介助方法 	中村正 中川 池上
<p>認知症介護基礎研修【動画配信版】 令和4年9月 主催：社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター</p>	認知症介護に携わる者が、その業務を遂行する上で必要となる基礎的な知識・技術を身に着け、基本的なサービス提供を行えるようにする。	澁谷
<p>認知症介護実践者研修 令和4年10月11日～11月22日 5日間 主催：神奈川県</p>	高齢者介護実務者およびその指導者に対して認知症高齢者の介助に関する実践的な研修	広瀬

研修実施事業者：株式会社ゆずり葉の会		
救命講習会 令和4年度10月25日 主催：大和市消防本部	普通救命講習会	藤田 澁谷
四市合同研修会 オンラインライブ研修 令和4年11月18日 主催：県央東部4市地区高齢者施設 連絡協議会	・ 峯尾武巳先生による ZOOM 会議 ・ 自分のストレスを軽減させ、ご利用者や 職場仲間と円滑なコミュニケーション を図る	山本幸
防火実務研修会 令和4年11月28日 主催：大和市消防本部	夜間の防火安全対策の強化及び緊急時の 対応力向上を語る	大平 中村正
看護師研修「看取り」 令和5年3月3日 主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会	・ 医師の教育課程における看取りの考 えを知ることが出来た。	塩谷
神奈川県 高齢者権利擁護推進 研修身体拘束廃止推進研修 令和5年3月10日～22日 主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会	・ 施設長研修、専門研修、基礎研修に階層 別に分かれて受講 ・ 高齢者権利擁護・身体拘束廃止に関する 基礎知識等	小泉 人見 山本幸 広瀬 中村正

イ ボランティア活動

令和4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策禍の社会情勢を見極め、地域住民や学生ボランティア受入を検討し、地域との連携をとり、可能な範囲でボランティアとご利用者との交流の場を設けます。 ・ ボランティアセンター等のインフォーマルサービスの利用及び紹介等による募集を行います。
取り組み評価	新型コロナウイルス感染症対策の中、積極的な働きかけはできませんでした。
反省点と要因	お花クラブや書道クラブについては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症予防のため、開催することはできませんでした。しかし、ユニット毎のレクリエーションの定期開催や施設庭園の散策等を重視し、ご利用者が楽しむことができる機会を設けました。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策禍の社会情勢を踏まえ、地域の社会福祉協議会や自治会との連携を図ります。 ・ ボランティアコーディネーター研修に参加し、専門職員を育成します
ボランティア実績	新型コロナウイルス感染症予防対策により、受け入れ実績はありません。

ウ 外部機関との関わり

取り組み	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえつつ、外部機関との関わりとして、障がい者施設が販売事業（パン・弁当・マフィン等）をおこなえない等の相談が
------	--

	あり、施設内での職員向けの販売協力をおこないました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人 県央福祉会 ワークステーション菜の花…マフィン販売 ・ 社会福祉法人 県央福祉会 希望の家…パン販売
--	--

4 職員関係

(1) 職種別配置構成*総務課 非常勤 管理職者、清掃を含む。 令和5年3月31日現在

区 分		常 勤	非 常 勤	計
施 設 長		1	0	1
総 務 課 (宿直・営繕も含む)		3	4	7
介 護 (清掃も含む)		37	40	77
医 務	看護師等	7	0	7
	嘱託医師 (内科)	0	2	2
	嘱託医師 (歯科)	0	1	1
	嘱託医師 (精神科)	0	1	1
栄 養	管理栄養士	1	0	1
相 談	介護支援専門員	1	0	0
	機能訓練指導員	1	0	1
	生活相談員	2	0	2

(2) 資格取得構成 令和5年3月31日現在

区 分	常 勤		非 常 勤	
	男性	女性	男性	女性
介護福祉士	16	5	3	7
初任者資格	1	2	0	6
実務者研修資格	7	1	0	2
医師及び歯科医師	0	0	3	1
看護師	0	6	0	0
准看護師	0	2	0	0
社会福祉士	1	0	0	0
社会福祉主事任用資格	7	0	0	0
介護支援専門員	4	2	0	1
管理栄養士	0	1	0	0
柔道整復師	2	0	0	0

(3) 実習・見学・講師派遣関係

<見学>

*令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、見学の受け入れは行いませんでした。

<講師派遣>

*以下の団体に職員を講師として派遣いたしました。

依頼団体	派遣月日	内容及び会場	派遣者名
学校法人柏木学園	5月17日	介護職員初任者研修（研修センター）	小泉
学校法人柏木学園	6月22日	介護職員初任者研修（研修センター）	人見
学校法人柏木学園	7月6日	介護職員初任者研修（大和商業）	小泉
学校法人柏木学園	7月21日	介護職員初任者研修（研修センター）	小泉
学校法人柏木学園	8月4日	介護職員初任者研修（研修センター）	人見
学校法人柏木学園	10月13日	介護職員初任者研修（専門学校）	人見
第三者評価推進機構	10月22日	第三者評価調査委員研修講師	小泉
認定介護福祉士認定機構	10月28日	認定介護福祉士講座（ウィリング横浜）	小泉
学校法人柏木学園	11月2日	介護職員初任者研修（専門学校）	人見
学校法人柏木学園	11月17日	介護職員初任者研修（大和商業）	小泉
学校法人柏木学園	11月30日	介護職員初任者研修（研修センター）	小泉
学校法人柏木学園	1月19日	介護職員初任者研修（専門学校）	人見
学校法人柏木学園	1月25日	介護職員初任者研修（研修センター）	小泉
学校法人柏木学園	2月2日	介護職員初任者研修（研修センター）	小泉
学校法人柏木学園	2月9日	介護職員初任者研修（専門学校）	人見
学校法人柏木学園	3月2日	介護職員初任者研修（研修センター）	人見
学校法人柏木学園	3月15日	介護職員初任者研修（研修センター）	小泉
学校法人柏木学園	3月30日	介護職員初任者研修（研修センター）	人見

<地域連携>

福祉の魅力を伝える プロジェクト	5月1日 ～3月31日	大和市社会福祉協議会	広瀬
車椅子体験教室	10月16日	大和市社会福祉協議会（大和東小学校）	山本幸 甘利・古橋
障がい者施設利用者相談	月2回	e ネットオンブズパーソン	小泉

<実習>*以下の機関の実習を受け入れました。

教員免許資格取得			
教育機関	実施時期		内容
東洋英和女学院大学	8月22日	～ 8月26日	介護等体験
日本大学	9月5日	～ 9月9日	介護等体験
横浜教育専門学校	9月12日	～ 9月16日	介護等体験
多摩大学	9月19日	～ 9月23日	介護等体験
日本大学	9月26日	～ 9月30日	介護等体験
國學院大學	10月3日	～ 10月7日	介護等体験
二俣川看護福祉専門学校（4名）	11月28日	～ 12月6日	施設実習

以上